

東北大学 加齢医学研究所 発

AI人工知能 × 脳[海馬]MRI検査

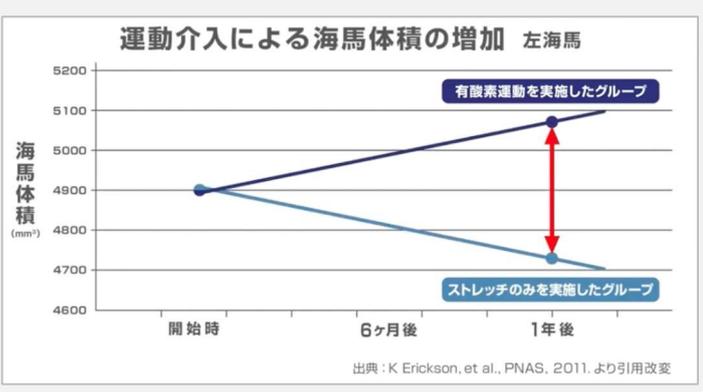
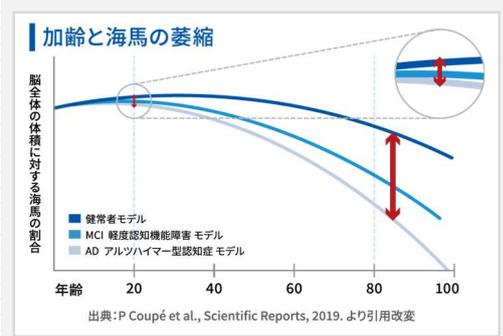


- ✓ 30代からの 認知症予防検査
- ✓ 脳のパフォーマンスチェック



かいば 脳[海馬]は30代から年齢を重ねるごとに萎縮する。

運動不足、睡眠不足、ストレス過多、食事バランスの偏りなどにより **脳[海馬]の萎縮のスピードが早まる**ことがわかっています。



かいば 記憶を司る 脳の海馬はいくつになっても育つ。

生活習慣の改善で **海馬を大きくできる**ことが確認されています。

早めの予防行動で **脳は変えられます**

瀧 靖之 教授
東北大学加齢医学研究所 医師・医学博士



ブレインスイート検査とは

01 測定する

脳 MRIとAI (人工知能)で 脳(海馬)を測定

02 認識する

同世代と比較し 脳(海馬)の状態を認識

03 行動する

生活習慣を見直し 脳に良いことを行う

04 改善する

脳(海馬)の体積Up 認知症の予防へ

◇ 寝屋川市国民健康保険の方 ◇ (実質負担金を軽減できます)
脳ドック受診費用として寝屋川市より3万円の助成金が補助されます

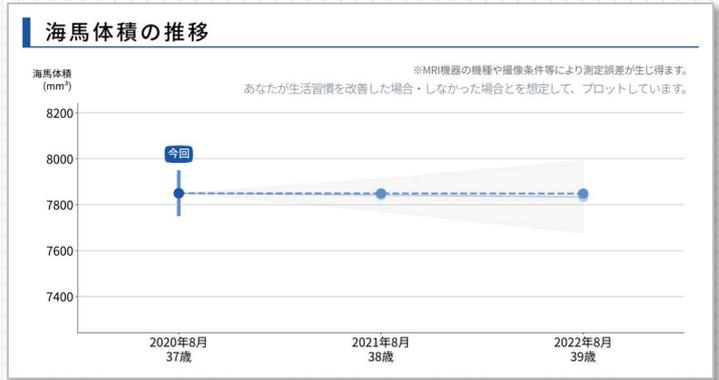
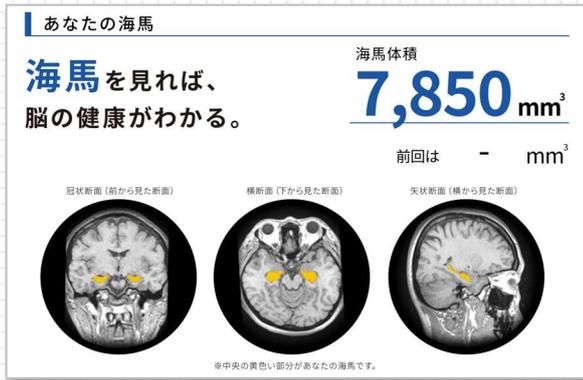
- ① 頭部MRI + MRA検査 + AI認知症予防検査 (BrainSuite) **29,700円**
 - ② 頭部MRI + MRA検査 + 頸動脈エコー検査 + AI認知症予防検査 (BrainSuite) **34,650円**
- AI認知症予防検査 (BrainSuite) : 11,000円 ※補助内容の詳細は寝屋川市のホームページをご参照下さい / ※全て税込





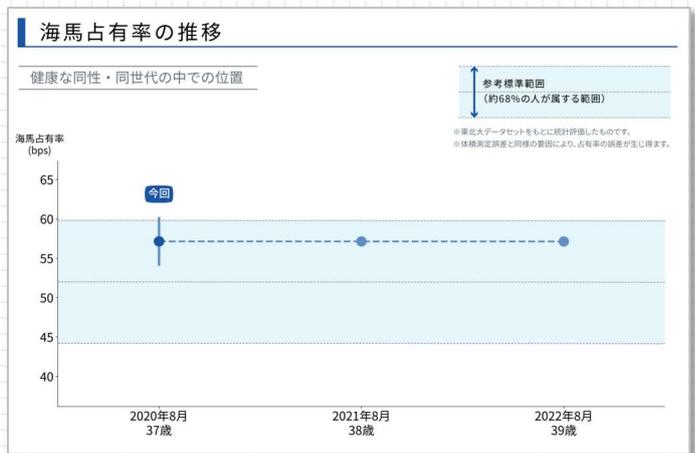
海馬体積と推移

海馬には認知機能が低下をする"前"から萎縮する特性があるため、海馬を測定することで認知機能の低下を軽減させる対策を早期に打つことができます。



頭蓋内海馬占有率と推移

脳全体に対し、海馬の占める割合を海馬占有率といいます。健康な同性・同世代の標準値・平均値と比べることにより、海馬の萎縮傾向を評価することができます。

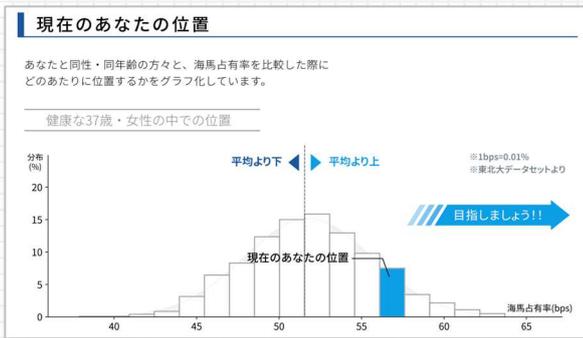


なぜ海馬占有率？

海馬占有率を算出することで、身長や性別といった体格差等を考慮した評価が可能となります。海馬はとても小さく、大人の男性でも小指ほどで、脳全体に対し1%にも満たない大きさです。

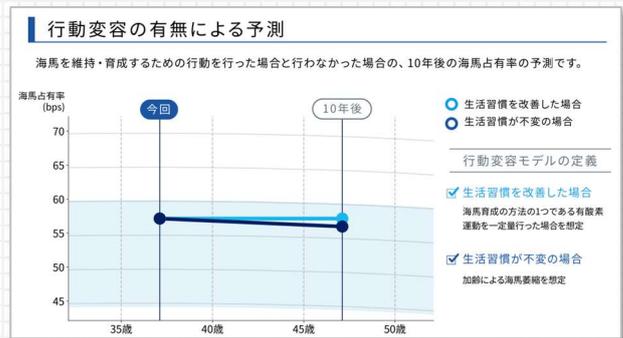
海馬占有率の同性同世代比較

健康な同性・同年齢と比較し、どのあたりに位置するかをグラフ化します。



海馬占有率10年後予測

生活習慣などを見直した場合・そうでない場合の10年後の海馬占有率を予測します。



マイページ
MyPage があるから
"生涯健康脳"が目指せます。

結果をいつでもチェック

撮影したMRI画像を見られるビューワや、結果レポートを閲覧できます。

オンライン健康相談

ブレインスイート開発元であるCogSmartの専属医師・看護師によるオンライン相談が受けられます。※要予約

お役立ちコンテンツも充実

「認知症にならないために」知っておきたい情報を随時更新しています。

